

令和6年9月17日

農林水産部農業経営戦略課 農業人材グループ

担当 清水

TEL：076-225-1660

「未来を耕す農福連携のススメ～いしかわ農福連携セミナー～」 の開催について

農福連携とは、農業と福祉が手を取り合って、互いのより良い未来を築いていく取組です。障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、働き手の確保につながります。

そこで、石川県では農福連携について理解を深め、農業分野における障害者の就労を促進するため、農福連携セミナーを開催します。

1. 日 時：令和6年10月13日（日）14：00～16：30
2. 場 所：石川県庁1階101会議室（金沢市鞍月1-1）
3. 対 象：農福連携に関心のある農家、福祉事業者、福祉や農業関係者 等（定員50名）
4. 主 催：石川県

5. 内 容：（1） 講演 ①

「ノウフクの今とこれから～石川県に期待すること～」

講師：千葉大学園芸学部 教授 吉田 行郷 氏

講演 ②

「農福連携の可能性～高工賃の実現に向けて～」

講師：社会福祉法人ゆずりは会 菜の花 管理者 小淵 久徳 氏

（2） パネルディスカッション

農福連携に先進的に取り組んでいる方や、取組を始めた方など、様々な立場の取組事例から農福連携が上手くいくポイントなどについて学ぶ。

【パネラー】

株式会社笠間農園 取締役 笠間 令子 氏（ファシリテーター）

千葉大学園芸学部 教授 吉田 行郷 氏

社会福祉法人ゆずりは会 菜の花 管理者 小淵 久徳 氏

金沢市農業協同組合 担い手支援室 室長 押田 哲男 氏

就労継続支援事業所 松の実園 施設長 山田 真由美 氏

白山市施設園芸農家 今江 茂 氏

就労継続支援事業所 サンサポートさらだ 管理者 池田 致 氏

6. 申込み

（1） 申込期間：令和6年9月17日～10月12日

（2） 申込先及び方法：HP・FAX

HP：<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shigoto/norinsuisan/norinsuisan/>

FAX：076-225-1618

未来を耕す 農福連携のススメ

～いしかわ農福連携セミナー～



農福連携とは?

農業と福祉が手を取り合って、互いのより良い未来を築いていく取組です。障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、働き手の確保につながります。本セミナーを通じて、農福連携の第一歩を踏み出してみませんか?

日時 令和6年 **10.13** [日] 14:00-16:30

場所 石川県庁1階101会議室(金沢市鞍月1-1)

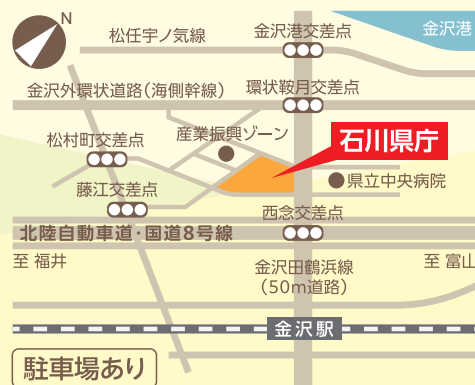
対象 農福連携に関心のある農家、福祉事業者、福祉や農業関係者等

定員 50名

申込はこちら



FAXによる申込は裏面をご覧ください



講演 ①

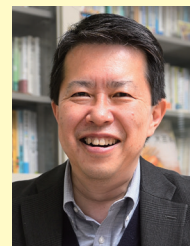
「ノウフクの今とこれから～石川県に期待すること～」

【講師】

千葉大学園芸学部 教授

吉田 行郷 氏

東京大学農学部農業経済学科卒業後、農林水産省で20年間行政官として勤務した後、同省・農林水産政策研究所で研究官として16年間勤務。2021年3月末に同研究所を次長で退職し、同年4月より現職。2008年より農業分野での障害者就労の場・居場所づくりを目指す「農福連携」の研究を開始。著書に「農福連携が農業と地域をおもしろくする」(コトノ生活)等がある。



講演 ②

「農福連携の可能性～高工賃の実現に向けて～」

【講師】

社会福祉法人ゆずりは会 菜の花 管理者

小淵 久徳 氏

法人として認定農業者になっており、菜の花(法人内の事業所の1つ)では、約14haの農地で、えだまめ、たまねぎ、ブロッコリー等の野菜を栽培するとともに、ライスセンターを運営し、乾燥調整作業を受託。食育活動や地域内外の企業と連携した商品開発を行うなど、持続可能な地域共生社会や多様性のある地域づくりに貢献。



パネルディスカッション

「農福連携がもたらす効果と続けるポイント」

パネラー

(株)笠間農園 取締役

千葉大学園芸学部 教授

ゆずりは会菜の花 管理者

金沢市農業協同組合 担い手支援室長

松の実園 施設長

白山市施設園芸農家

サンサポートさらだ 管理者

※パネラーの紹介は裏面へ

笠間 令子 氏 (ファシリテーター)

吉田 行郷 氏

小淵 久徳 氏

押田 哲男 氏

山田 真由美 氏

今江 茂 氏

池田 致 氏



お問い合わせ先



石川県農業経営戦略課 Tel:076-225-1660

HP:https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shigoto/norinsuisan/norinsuisan/

未来を耕す農福連携のススメ

～いしかわ農福連携セミナー～



みんなで耕そう!

ノウフク

NOUFUKU PROJECT

パネラーご紹介



金沢市農業協同組合 担い手支援室長

押田 哲男氏

平成30年から農家、集出荷場と福祉事業所とのマッチングを行い、双方のパイプ役として、作業内容や労働条件の確認、日程調整、作業指導等の支援を行う。



就労継続支援事業所 松の実園 施設長

山田 真由美氏

令和元年から事業所の作業の一環として農福連携の取組を始め、今年で6年目。現在、4件の農家や会社等と農福連携に取り組む。



白山市施設園芸農家

今江 茂氏

バス会社を退職し、令和2年に就農。白山市できゅうりやキクの栽培に取り組む。令和6年から農福連携の取組を開始。



就労継続支援事業所 サンサポートさらだ 管理者

池田 致氏

令和6年から施設外就労で農福連携の取組を開始。きゅうりの袋詰めやキクの出荷調整作業などを行う。

〈今後のスケジュール〉

農福連携技術支援者育成研修

農福連携の取組を推進・拡大させるためには、農業者と福祉事業所の不安を解消し、円滑に農福連携の取組を開始するための支援が必要です。そこで、石川県では、農業と福祉の両方に関する知識を持ち、農福連携を現場で実践する手法を助言できる専門人材である「農福連携技術支援者」を育成する研修を実施します。※下記日程による実地研修の他、eラーニングによる座学研修も受講いただけます。(配信期間10月中旬～予定)

日時

11月23日(土)、24日(日)、30日(土) 9:00～17:15(日によって多少前後します)

場所

11月23日、24日: 石川県農林総合研究センター(金沢市才田町295-1)
11月30日: 石川県庁101会議室

内容

「障害特性に対応した農作業支援技法」
「農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当の技法」
「障害福祉サービス事業所の運営の実務」等

講師

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 教授

豊田 正博氏

株式会社笠間農園 取締役

笠間 令子氏

※研修の最終日に修了試験があり、合格すると農林水産省認定の「農福連携技術支援者」として活動できます。

参加申込書

- セミナーへの参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、農業経営戦略課までFAXしてください。
※電話申し込みはできません
- 農福連携に興味のあるお知り合いの方などもお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください!

	氏名	職種	参加希望回 (○を記入)	
			10/13	11/23、11/24、11/30
代表者				
お連れの方				
会社名等※			携帯 TEL※	
メールアドレス※				

FAX 076-225-1618 (この用紙のままFAXしてください)

※は、代表者のみ記載してください。

お問い合わせ先



石川県農業経営戦略課 Tel:076-225-1660

HP: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shigoto/norinsuisan/norinsuisan/>

申込はこちら

